

市民の声が届く市政に

共に力を
合わせます



ますだ洋平議員
健康福祉常任委員会委員
議会広報委員会委員



山根たけと議員が
副議長に就任
財政総務常任委員会委員



村口くみ子議員
建設環境常任委員会委員
都市計画審議会委員



竹村博之議員
文教市民常任委員会委員長
環境審議会委員



玉井みき子議員
議会運営委員会副委員長
健康福祉常任委員会委員



柿原まき議員
議会運営委員会委員
文教市民常任委員会委員



塩見みゆき議員
財政総務常任委員会委員
都市計画審議会委員

5月27日から6月28日まで5月定例会市議会が開催されました。今議会では議長等の役員や所属する常任委員会を決定し、吹田市破砕選別工場等改修工事及び小中学校校舎大規模改修工事等の契約、新型コロナウイルスワクチンの定期接種に係る予算や古江台留守家庭児童育成室プレハブ校舎のリース予算等の補正予算が提案され、全会一致で可決しました。

2月議会における 吹田事件をめぐる市の答弁を 市長が事実上修正

2月議会において、自民党市議が1952年に起こった吹田事件を取り上げ、「吹田操車場の襲撃が目的」「吹田市内を恐怖のつばに落とし込んだ武装デモ」と主張、市立図書館の事件紹介文の修正を求めました。市は、「誤解を招く表現だった」「当時のデモ行進で武力衝突があった」などと答弁し「デモ行進に対する弾圧事件」という紹介文を「デモ隊と警官隊が衝突した事件」と書き換えました。



朝鮮戦争中、軍需輸送の拠点だった吹田操車場跡

【吹田事件とは】

朝鮮戦争開始2周年目の1952年6月、戦争反対の集会に参加した学生や労働者、朝鮮人約1000名が、戦争反対のデモ行進を行った。当時日本政府はアメリカの軍事行動を支援しており、国鉄吹田操車場は軍需輸送の拠点とされていた。参加者のうち11人が騒擾罪（現在の騒乱罪）で起訴されたが、一審二審とも騒擾罪の成立を認めず無罪が確定した。判決では、検察が言う「武装」について、「一般的には防衛的なものであったと認められる」「集団そのものに攻撃的・暴力的性格を認めることはできない」と、自民党市議の主張を明確に退けている。

日本共産党は、5月議会で、吹田事件に関する紹介文を修正した問題を取り上げました。裁判では厳密な事実認定を経て平和的なデモであったことが明らかになっており、判決でも「武力衝突」という認定は一切されていないことを示し、改めて判決内容と市の認識を問いました。

地域教育部長は「デモ隊の行動は朝鮮戦争反対、軍需輸送に対する抗議のための集団示威行進とされている」「判決を尊重する」と答弁しました。

市長は「確定判決は理解し尊重しなければならない。公共の場において、特に公的機関である行政において、主観的言動は厳に慎まなければならない」と指摘の点に何ら異論を持つものではない」と、事実上、2月議会での地域教育部長の答弁を修正しました。



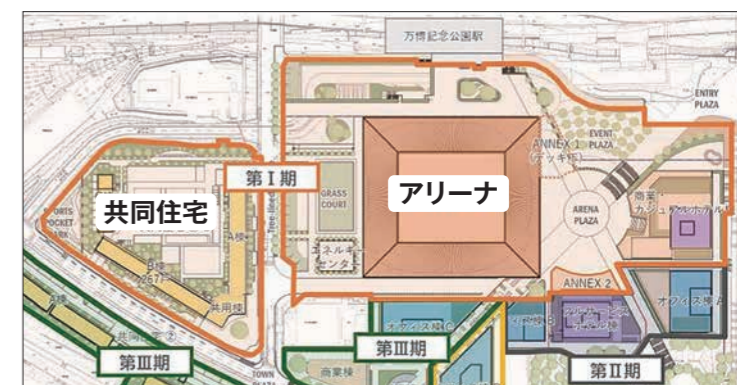
質問動画はこちら



		日本共産党	大阪維新の会	公明党	自民党	吹田党	市民と歩む議員の会	参政党	立憲民主党
日本共産党が提案	訪問介護の基本報酬引下げの撤回と、介護報酬引上げの再改定を早急に行うよう求める意見書	可決	○	○	×	○	×	○	○
	聴覚補助機器の積極的な活用への支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○
	地方自治法に新たに盛り込まれた「国民の安全に重大な影響を及ぼす事態における国と普通地方公共団体との関係等の特例」の規定の廃止を求める意見書	否決	○	×	×	×	○	○	○
	物価高騰に見合う高齢基礎年金等の支給額の引上げを求める意見書	否決	○	×	×	×	×	○	○
破損した太陽光パネルの危険性等について国民に十分な周知を行うことを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	

万博記念公園地区に住宅建設を認めないことを再度求める決議 可決

大阪府と事業予定者は、万博記念公園南側に大規模アリーナ等整備と併せて共同住宅の建設を計画しています。しかし、市の条例では同地区内での共同住宅の建設は認められていません。4月と7月に開催された地元意見交換会でも建設反対の声が多数あがっています。上記決議を日本共産党と自民党・無所属の会が提案し、可決しました。なお、大阪維新の会は反対（うち1人は退席）しました。



参照：大阪府「万博記念公園駅前周辺地区の活性化」提案概要
<https://www.pref.osaka.lg.jp/fukatsu/ekimae/index.html>